

令和6年度 必読書・推薦書リスト

学校名	西湘	高等学校	学校整理番号 (3桁)	106
-----	----	------	----------------	-----

コメント欄(必読書・推薦書の選定に当たっての各校の特色を生かした視点などを200字以内で記載してください。)

本校生徒のことを一番よく分かっている先生方に、生徒に読んでほしい本を推薦してもらいました。本校のミッションの根源にある、生徒の豊かな人間性や社会性を涵養したり、個性を伸ばしたりするのに役立つ本ばかりです。

NDC (3桁)	書名	作者名	出版社	概要	
1	210	それでも日本人は「戦争」を選んだ	加藤陽子	新潮社	現在の社会状況の判断や、未来への予測の際、過去の事例との比較が大切です。公平な解釈で検証された史料が、ジグソーパズルのようにあてはめられていくのは痛快です。
2	412	哲学的な何か、あと数学とか	飲茶	二見書房	1995年に、350年振りに証明されたフェルマーの予想を巡る、軽いタッチで口語調に書かれた本です。今で言う所のブログ調に近く、分かりやすくなっています。
3	440	もしも月がなかったら～ありえたかもしれない地球への10の旅～	ニール・F.カミンズ ほか	東京書籍	地球が人間が生きられる惑星であるのは、月の存在や太陽の大きさなどの「奇跡」によるものです。本書を読んで科学的IFを探ることで、これらの条件が異なっていたらどうなっていたかを想像してみましょう。
4	467	超圧縮地球生物全史	ヘンリー・ジー 竹内薫	ダイヤモンド社	地球の誕生から生物の進化がまるごと分かります。原始人から人類になるところがドラマチックで面白いです。解説が専門的で、生物の好きな人が深く楽しめます。
5	538	宇宙からの帰還	立花 隆	中央公論新社	JAXA新宇宙飛行士候補の諏訪理さんが影響を受けた本です。12人の元宇宙飛行士へのインタビューを集め、宇宙体験が人間の意識をどう変えるかを探る内容で、画像では伝わらない、実際の宇宙の印象と心的変化を伝えます。
6	538	さばの缶づめ、宇宙へいく	小坂康之	イースト・プレス	福井県の高校生が作ったサバ缶が宇宙食として採用されました。かかった月日はなんと13年！かなり壮大な話ですが、やっていることは探究学習とほぼ同じです。是非参考にしてみてください。
7	831	あいうえおフォニックス	スーパーファジー	KADOKAWA	英語をネイティブのように話したい、リスニングでもっと聞き取れるようにしたいという人におすすめです。英語を発音する上で最も重要な「フォニックス」をかわいイラストと日常的な例を使ったわかりやすい解説で学ぶことができます。
8	911	あなたのための短歌集	木下龍也	ナナロク社	歌人・木下龍也さんは、映画のような壮大なテーマを31文字に凝縮し、心の葛藤とユーモアを織り交ぜて表現しています。日本語の伝統的な言葉遊びに新たな魅力を感じることでしょう。短歌のイメージが新しくなります。
9	913	図書館戦争	有川浩	角川書店	アクションやコメディ、ラブストーリーなどの面白い要素がありつつ、表現の自由をめぐる戦う主人公たちを通して様々なことを考えさせる、読みごたえのあるストーリーです。
10	913	逆ソクラテス	伊坂幸太郎	集英社	伊坂の作品にしてはめずらしく子供が主人公の短編集です。短編集であり読みやすく書かれているにもかかわらず、各章での奇跡的なつながりがあり、もう一度読みたくなります。これこそ伊坂ワールド。この作品の中の「僕はそう思いません」は大事にしたい言葉です。
11	913	ラーゲリより愛を込めて	辺見じゅん 林民夫	文藝春秋	実話を基にしたストーリーで、映画化・ノベライズ化されています。生きるとは何か、人の尊厳とは何かを考えさせられます。原作の『収容所から来た遺書』も併せて読むと、理解が深まります。
12	913	風が強く吹いている	三浦しをん	新潮社	「一本の襷に想いを込めて」箱根駅伝を舞台にした感動の一作です。映画化もされています。
13	913	カラフル	森絵都	文藝春秋 ほか	高校生の皆さんに是非読んでもらいたい、今を大切に生きることを教えてくれる本です。